

建設現場における遠隔臨場 事例集

令和7年4月

福岡市

目次

No	区分	主な確認事項	主な工種	主な確認内容	工事名称	備考
1	土木	出来形確認	舗装工	路盤厚確認	油山牧場災害復旧工事（その2）	
2	土木			舗装厚確認	千早2141号線外1路線道路舗装工事	
3	土木				東区美和台4、5丁目地内配水管布設工事	
4	土木		推進工	推進延長確認	福岡（薬院二丁目外）地区下水道築造工事	夜間
5	土木	立会確認	舗装工	技術提案履行確認	令和5年度箱崎ふ頭地区臨港道路（港箱A-8）改良工事	夜間
6	土木		排水構造物工	配筋確認	堤1511号線外1路線側溝改良工事	
7	土木			溶接確認	市道宮ノ浦線道路改良工事（その9）	
8	営繕		電気工事	配管確認	令和5年度市営下山門住宅（その1地区）電気工事	
9	営繕		電気工事	型式確認	消防学校体育館特定天井改修電気工事	
10	営繕		地質調査	検尺確認	消防学校機能強化建築工事地質調査業務委託	業務委託
11	土木	材料確認（工場）	ハンドホール工	配筋確認	一般県道桧原比恵線（平尾工区）電線共同溝建設工事（その16）	夜間
12	土木	材料確認 （現場等）	排水構造物工	材料確認	市道千鳥橋唐人町線（長浜交差点）道路改良工事	
13	土木		管更生工		堅粕第15雨水幹線（2）築造工事	
14	土木		標識工		御供所井尻3号線外1路線都市サイン設置工事	
15	土木		防舷材取替工		アイランドシティ地区（-14m）岸壁防舷材取替工事	

〈工事概要〉

工期	R6.3.22～R6.11.27
工事内容	・舗装工 ・法面工 ・排水構造物工 ・防護柵工
発注者	農林水産局総務農林部政策企画課
受注者	株式会社ライズ福岡

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・路盤の出来形確認	・電波状況が十分でないことが予想されたため、事前に通信確認を行った。 ・確認漏れが生じないように細かく写真を撮影した。

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・立会の準備に係る待ち時間が削減できた。
- ・現地立会と比較し日程調整が容易であった。

〈課題〉

- ・電波の状況が悪い場所では、音声途切れる場合があった。
- ・スマホの扱いに慣れておらず、逆に時間がかかった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・往復の移動時間が削減できた。（45分×2＝1.5時間）

〈課題〉

- ・電波の状況が悪い場所では、音声途切れる場合があった。



【立会状況（路盤確認）】



【路盤厚確認】

〈工事概要〉

工期	R6.08.28～R6.12.25
工事内容	・舗装工
発注者	東区地域整備部地域整備課
受注者	ライズロード株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・舗装厚の出来形確認(コア採取) ・排水性舗装の現場透水試験	・連絡先の交換を済ませておくなど事前に準備を行い、当日の負担軽減を心掛けた。



【立会状況（舗装厚確認）】



【立会状況（現場透水試験）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・発注者との日程調整が容易であった。
- ・立会の準備など、現場の調整が容易であった。

〈課題〉

- ・成果品の基準が把握しづらいと感じた。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場との往復に要する移動時間が削減された。

〈課題〉

- ・特になし。

No.3

東区美和台4、5丁目地内配水管布設工事

〈工事概要〉

工期	R6.7.30～R7.3.15
工事内容	・舗装工 ・管布設工
発注者	水道局配水部東部管整備課
受注者	ダイトム株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン（受注者） ・タブレット（発注者） 「配信」 ・LINE	・舗装コア厚み確認	・当日トラブルがないように、前日に手順の確認をしっかりと行った。



【立会状況（コア厚み確認）】



【立会状況（全景）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・立会の準備に係る待ち時間が削減できた。
- ・現地立会と比較し日程調整が容易であった。

〈課題〉

- ・電波の状況が悪い場所では、音声が届かない場合があった。
- ・計測結果が映像を通じると見えづらく、確認してもらうのが大変であった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現地立会と比較し日程調整が容易であった。

〈課題〉

- ・通信状態によっては、音声や画像が届かないことがあった。
- ・業者によっては機会に不慣れで、作業に時間がかかった。

〈工事概要〉

工期	R6.1.17～R7.3.1
工事内容	・取付管推進工 ・管更生工 ・桝及び取付管工
発注者	道路下水道局建設部中部下水道課
受注者	橋本建設工業有限会社

〈内容〉

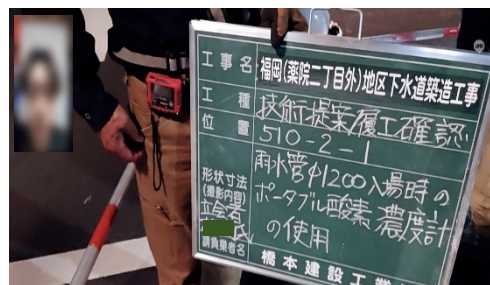
映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・取付管推進工の出来形確認 ・技術提案の履行確認	・特殊な機器を準備することなく、既存のスマートフォン等で実施した。



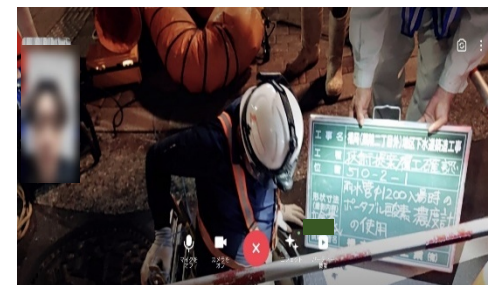
【立会状況(取付管推進工の出来形確認)】



【立会状況(取付管推進工の出来形確認)】



【立会状況(技術提案の履行確認)】



【立会状況(技術提案の履行確認)】

〈現場の声〉

●施工者(受注者)

〈効果〉

- ・夜間施工現場の場合、夜間に現場まで来てもらう監督職員の負担を減らすことができた。
- ・スマートフォン・LINEアプリを利用することで、新しくシステムを導入する費用がかからなかった。

〈課題〉

- ・特になし。

●監督員(発注者)

〈効果〉

- ・移動や待機する時間を削減することができた。
- ・夜間施工における立会が在宅で可能であり、時間調整がしやすく、夜間の立会が容易にできた。

〈課題〉

- ・特になし。

〈工事概要〉

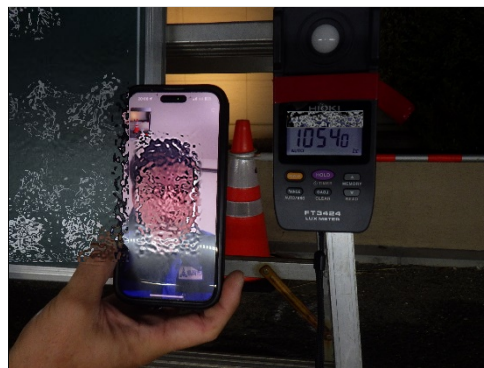
工期	R6.03.09～R6.11.14
工事内容	・舗装工 ・側溝工
発注者	港湾空港局港湾建設部工務課
受注者	福岡道路株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・技術提案の履行確認 ・路盤の出来形確認 ・プルフローリング試験	・事前にテスト通話を行い、当日起こりうるリスクと対策を練り、工事の進捗に影響を与えないようにした。 ・カメラを対象物に十分に寄せるなど数値の確認をしやすいカメラワークを心掛けた。



【立会状況（LED照度確認）※技術提案】



【立会状況（LED照度確認；近接）】



【立会状況（路盤厚確認）】



【立会状況（路盤厚確認；近接）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・普段から使用しているアプリで実施可能だったため不便さを感じた場面もなく、手軽に立会を行うことができた。
- ・資材搬入等の時間がずれた際に、監督員を現場で待たせずにすむため精神的負担が軽くなった。

〈課題〉

- ・電波の状況が悪い場所では、音声が届かない場合があった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・往復の移動時間が削減できた（自宅～現場：片道1.0H×2）。
- ・現場確認に要する時間は、立会時とほぼ変わらなかった。
- ・在宅のため、家事・育児を終えてから立会ができた。

〈課題〉

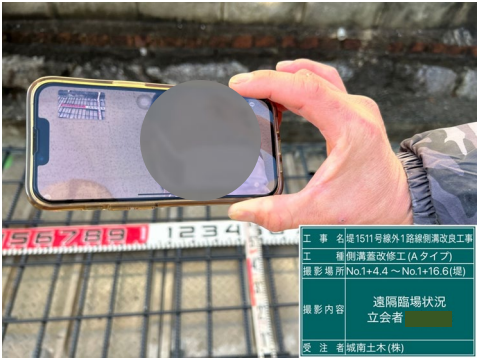
- ・当日、どちらかの端末に異常が発生すると立会が行えず工事の進捗に影響を及ぼしてしまった。

〈工事概要〉

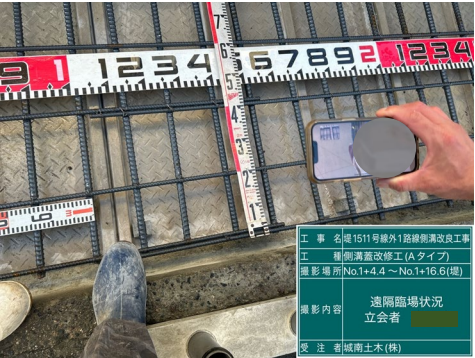
工期	R6.10.26～R7.3.14
工事内容	・側溝蓋改修工
発注者	城南区地域整備部地域整備課
受注者	城南土木株式会社

〈内容〉

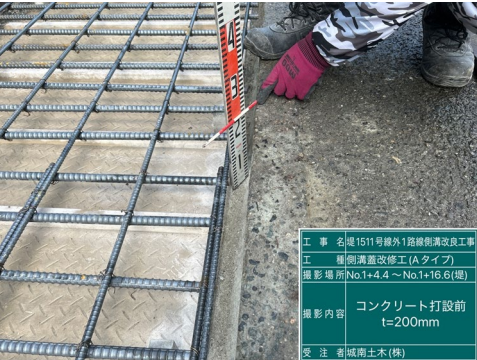
映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・床板部の配筋確認	・カメラで確認するので、目視同様、 被り、主筋及び配力筋の間隔、打 設前の厚み等を尺を使用し、説明 をする事で監督員がきちんと確認 できるよう準備をした。



【立会状況（配筋確認）】



【配筋立会(配筋確認:出来形確認)】



【立会状況(打設前厚み確認)】



【配筋完了】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・監督員が他の現場の立会と多少被っても移動がない分、時間の融通が
きく事、事務所に待機してもらう事で準備及び遠隔立会が現場サイ
ドのタイミングにある程度合わせてもらえる利点がかなり大きかった。

〈課題〉

- ・目視でしか確認出来ない現場か、電波の届きにくい土地での立会では
困難であった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの移動時間が削減できた。

〈課題〉

- ・鉄筋の間隔など数値が見えづらいことがあった。

〈工事概要〉

工期	R5.10.19～R6.7.30
工事内容	・排水構造物工 ・ブロック積擁壁工 ・ボックスカルバート工
発注者	西区地域整備部土木第2課
受注者	松浦建設株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・溶接完了確認 ・カラーチェック （染色浸透深傷試験）	・午前・午後ともに同様の内容の立会であったことから、午前に現地で説明確認したうえで、午後の立会分を遠隔臨場とした。



【溶接完了】



【カラーチェック（染色浸透深傷試験）】



【立会状況（カラーチェック）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・監督員の拘束時間が少なくなるため、立会の日程調整がしやすくなった。

〈課題〉

- ・スマートフォンの操作に慣れが必要であった。
（画面の現場と監督員の配置、スクリーンショットの取り方）
- ・スクリーンショットの画像サイズ・方向が通常写真サイズと合わなかった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場の往復移動時間が削減できた。（1時間）
- ・施工の待ち時間が削減できた。（2～3時間）

〈課題〉

- ・スマートフォンの操作に慣れが必要であった。
（画面の現場と監督員の配置、スクリーンショットの取り方）

〈工事概要〉

工期	R5.10.13～R7.03.18
工事内容	・電気工事
発注者	住宅都市局住宅部住宅建設課
受注者	横田電気工事株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット（発注者） ・スマートフォン（受注者） 「配信」 ・LINE	・スラブ配管確認 ・機器の搬入検査	・特殊な機器やアプリを準備することなく、使い慣れたスマートフォンおよびタブレットで実施した。



【立会状況①（配管確認）】



【立会状況②（配管確認）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・監督員の到着待ち時間などが無く、現場の進捗に合わせて立会してもらうことができた。

〈課題〉

- ・夏場に日の当たる場所では、機器の温度が高温になり通話が途切れることがあった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・現場までの往復の移動時間を削減できた。
- ・早朝の搬入検査に業者を待たせることなく対応できた。

〈課題〉

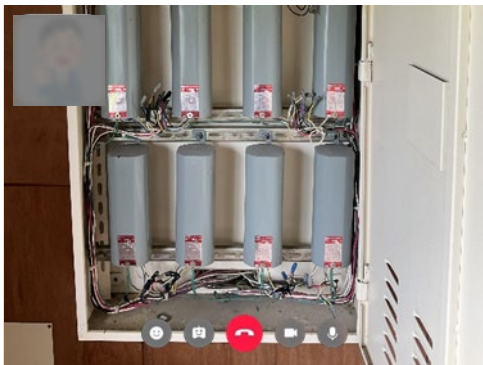
- ・コンクリートに囲まれた屋内では電波が悪かった。

〈工事概要〉

工期	R6.10.22～R7.02.27
工事内容	・電気工事
発注者	財政局アセットマネジメント推進部 設備課
受注者	株式会社デーエスイー

〈内容〉

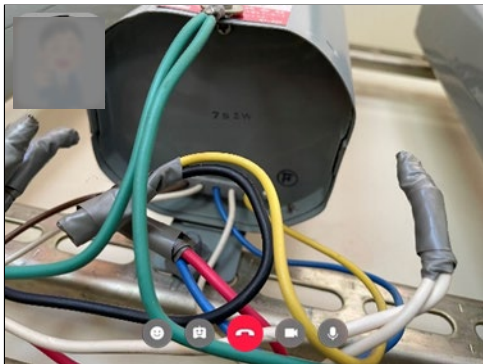
映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット(発注者) ・タブレット(受注者) 「配信」 ・LINE	・PCB含有製品の型式確認 ・PCB含有製品の保管場所確認	・発注者、受注者ともに、音声のとおり がよい環境を選定し、遠隔臨場を 実施した。 (発注者：集中ブース) (受注者：体育館倉庫)



【PCB含有製品の型式確認①】



【PCB含有製品の型式確認②】



【PCB含有製品の型式確認③】



【PCB含有製品の保管場所確認】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・PCB含有製品の型式は数箇所に記載があったが、遠隔臨場により、確認すべき型式が明確に判断できた。

〈課題〉

- ・遠隔臨場実施時の人員(記録係)を確保しなかった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・遠隔臨場により、PCB含有製品の型式目視確認ができた。
(PCB含有製品の廃棄物処理にあたり、緊急で型式の再確認が必要に)
(後日、保管場所も確認)
- ・移動時間を削減できた。(片道0.5h×2)

〈課題〉

- ・機器の性能によっては、映像用と音声用の機器を準備する必要があった。

〈工事概要〉

工期	R6.11.15～R7.03.14
工事内容	・地質調査
発注者	財政局アセットマネジメント推進部 施設建設課
受注者	株式会社ニチポー

〈内容〉

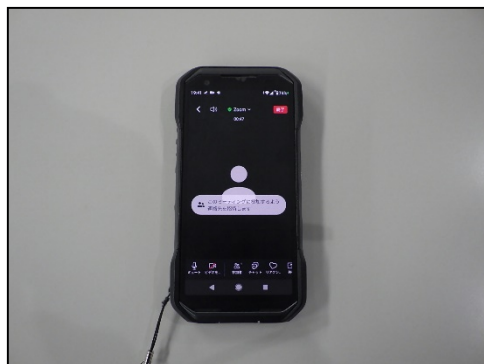
映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット（発注者） ・スマートフォン（受注者） 「配信」 ・ZOOM	・標準貫入試験の掘削長の確認・立会	・事前にいつ頃検尺を行うかの連絡と、検尺の準備ができたタイミングでの連絡を行うことによって、待ち時間を短縮した。



【立会状況（検尺確認）】



【立合状況(工事写真撮影)】



【主な使用機器】



【作業状況】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・立会が必要な際に連絡をするだけで、すぐに確認ができ、スケジュールの調整や、確認待ちなどの時間が短縮された。
- ・特別な機材を用意する必要がなかった。

〈課題〉

- ・立会状況の写真撮影において、立会者が鮮明に映らず、確認しにくい写真となった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・スケジュールを気にすることなく確認ができた。
- ・移動時間を削ることができるため、業務の効率化につながった。
- ・導入に対するコスト面のハードルが低かった。

〈課題〉

- ・画面越しのため、うまく見れないときがあった。
- ・通信環境上の不具合などが起き、検尺に時間がかかることがあった。

〈工事概要〉

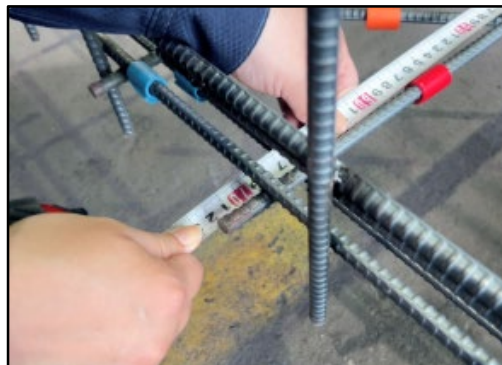
工期	R6.1.17～R7.1.31
工事内容	・ハンドホール工 ・管路工 ・舗装工
発注者	道路下水道局建設部西部道路課
受注者	株式会社原通信建設

〈内容〉

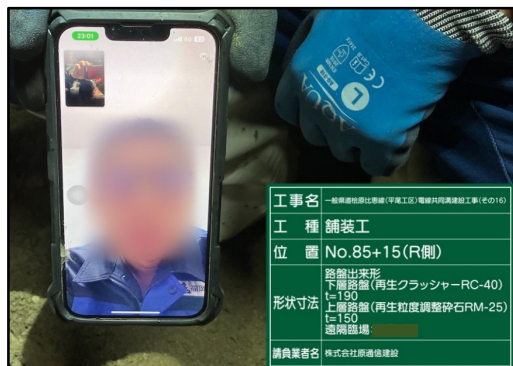
映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・ハンドホールの配筋確認（工場検査） ・路盤の出来形確認 ・舗装コア立会	・電波状況が十分でないことが予想されたため、事前に通信が途絶した場合の対応手順を決め、手戻りや時間の浪費が生じないようにした。 ・カメラを対象物に十分に寄せるなど数値の確認をしやすいカメラワークを心掛けた。



【立会状況（配筋確認）】



【立会状況（配筋確認；近接）】



【立会状況（路盤出来形確認）】



【立会状況（路盤出来形確認）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・立会の準備に係る待ち時間が削減できた。
- ・現地立会と比較し日程調整が容易であった。

〈課題〉

- ・電波の状況が悪い場所では、音声途切れる場合があった。
- ・通信用と撮影用に別々のスマートフォンを用意するほか、撮影を担当する人員を別途用意する必要があった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・往復の移動時間が削減できた。（工場検査（熊本県）片道2.5H×2）
- ・現場確認に要する時間が、立会時とほぼ変わらなかった。
- ・夜間施工における立会が在宅で可能であり、時間調整がしやすく、また、監督員も勤務時間の都合がつけやすかった。

〈課題〉

- ・ビデオ通話機能を使用する機会は限られるため、スマホの操作に予め慣れておく必要があった。

〈工事概要〉

工期	R6.10.26～R7.4.30
工事内容	・排水構造物工
発注者	中央区地域整備部地域整備課
受注者	有限会社河野建設工業

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・材料確認	・発注者と受注者のお互いが実施しやすいように、特殊な機器やアプリを使用することなく遠隔臨場を行った。



【立会状況（材料確認）】



【立会状況（材料確認）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・現場立会箇所が遠方な箇所でも容易に調整可能な上、現地立会と全く同等な確認が可能であるため、非常に便利であった。

〈課題〉

- ・事前に遠隔臨場に使用するアプリ等について打合せが不足していると、実施にあたり時間がかかった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・移動時間が削減できた。

〈課題〉

- ・特になし。

〈工事概要〉

工期	R6.6.14～R7.1.29
工事内容	・管更生工
発注者	道路下水道局建設部西部下水道課
受注者	吉岡工業株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット（発注者） ・スマートフォン（受注者） 「配信」 ・BeingCollaboration	・材料確認 ・空袋検収	・立会対象の全景と近景が動画で確認できるように、撮影時の立ち位置を工夫した。 ・立会対象物のわかりやすいナンバリングを心がけた。

〈現場の声〉

●施工者(受注者)

〈効果〉

- ・立会の準備に係る待ち時間が削減できた。
- ・現地立会と比較し日程調整が容易であった。

〈課題〉

- ・通信用と撮影用に別々のスマートフォンを用意するほか、撮影を担当する人員を別途用意する必要があった。

●監督員(発注者)

〈効果〉

- ・現場への移動時間が短縮された。
- ・日程の調整や変更が容易であった。

〈課題〉

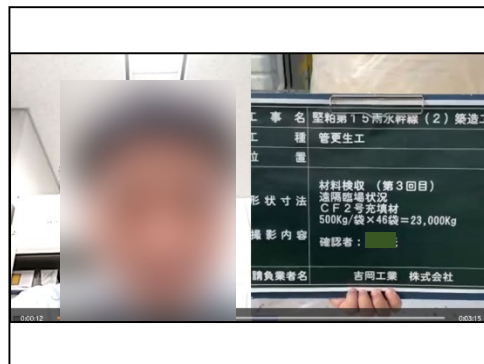
- ・特になし。



【立会状況①（材料確認）】



【立会状況①（材料確認）】



【立会状況①（監督側）】



【立会状況②（空袋検収）】

〈工事概要〉

工期	R6.8.7～R6.12.4
工事内容	・都市サイン設置工 ・付帯工
発注者	博多区地域整備部地域整備課
受注者	アースサイン株式会社

〈内容〉

映像と音声の「記録」に使用した機器及び「配信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・スマートフォン(発注者) ・スマートフォン(受注者) 「配信」 ・LINE	・材料確認	・発注者と受注者のお互いが実施しやすいように、特殊な機器やアプリを使用することなく遠隔臨場を実施した。



【立会状況（材料確認）】



【立会状況（材料確認）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・受注者の土場で行ったことで一度に材料を並べて立会ができたため、時間短縮に繋がった。
- ・日程や時間変更の対応がしやすかった。

〈課題〉

- ・特になし。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・移動時間の短縮ができた。

〈課題〉

- ・特になし。

〈工事概要〉

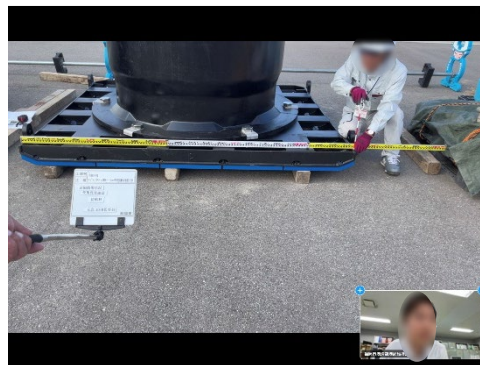
工期	R6.06.11～R6.12.15
工事内容	・防舷材取替工
発注者	港湾空港局港湾建設部維持課
受注者	株式会社福実

〈内容〉

映像と音声の「記録」に 使用した機器及び「配 信」に用いたシステム	遠隔臨場による確認項目	工夫した点
「記録」 ・タブレット（発注者） ・タブレット（受注者） 「配信」 ・Zoom	・材料確認	・臨場が効率的に実施できるよう、 材料の配置を工夫した。



【立会状況（材料確認）】



【立会状況（材料確認）】

〈現場の声〉

●施工者（受注者）

〈効果〉

- ・時間短縮につながった。

〈課題〉

- ・初歩的なミスも多く、事前に配信方法についてのレクチャーが必要であった。
- ・指示のあった箇所を明瞭に撮影するのが難しかった。

●監督員（発注者）

〈効果〉

- ・臨場に向かう移動時間が短縮されたため、予定の調整が容易であった。
- ・立ち入り制限のある施工箇所だったため、現場に臨場する人員が減ったことで、関係者との調整がより簡便となった。

〈課題〉

- ・撮影箇所の指示が難しかった。